

令和5年度当初予算案等の概要

博多まで一本。博多から一本。



福岡市地下鉄七隈線 天神南駅 ⇄ 博多駅

令和5年3月27日

延伸開業!

目次

I 令和5年度予算規模と輸送人員の推移

1. 令和5年度予算規模	1
2. 主な計数の比較	1
3. 1日あたりの輸送人員の推移（年度別）	1

II 主要事業

<u>1. 安全・安心の確保</u>	
(1) 土木構造物の長期健全性の確保	2
(2) 駅内外装大規模改修	2
(3) 2000系車両大規模改修	3
(4) 1000N系車両更新事業	3
(5) 新型コロナウイルス感染症対策	4
(6) 浸水対策事業	4
<u>2. 快適で質の高いサービスの提供</u>	
(1) 乗車マナーの向上	5
(2) 防犯対策の強化	6
(3) 駅空調の改善	6
<u>3. まちづくりへの貢献</u>	
(1) 博多駅筑紫口リニューアル事業	7
(2) 世界水泳選手権大会との連携	7
(3) 再生可能エネルギー由来電力の導入	8
(4) 環境負荷の低減（駅照明等のLED化）	8
<u>4. 経営基盤の強化</u>	
(1) マーケティングに基づく営業戦略	9
(2) 新技術の積極的な活用	9

I 令和5年度予算規模と輸送人員の推移

1. 令和5年度予算規模

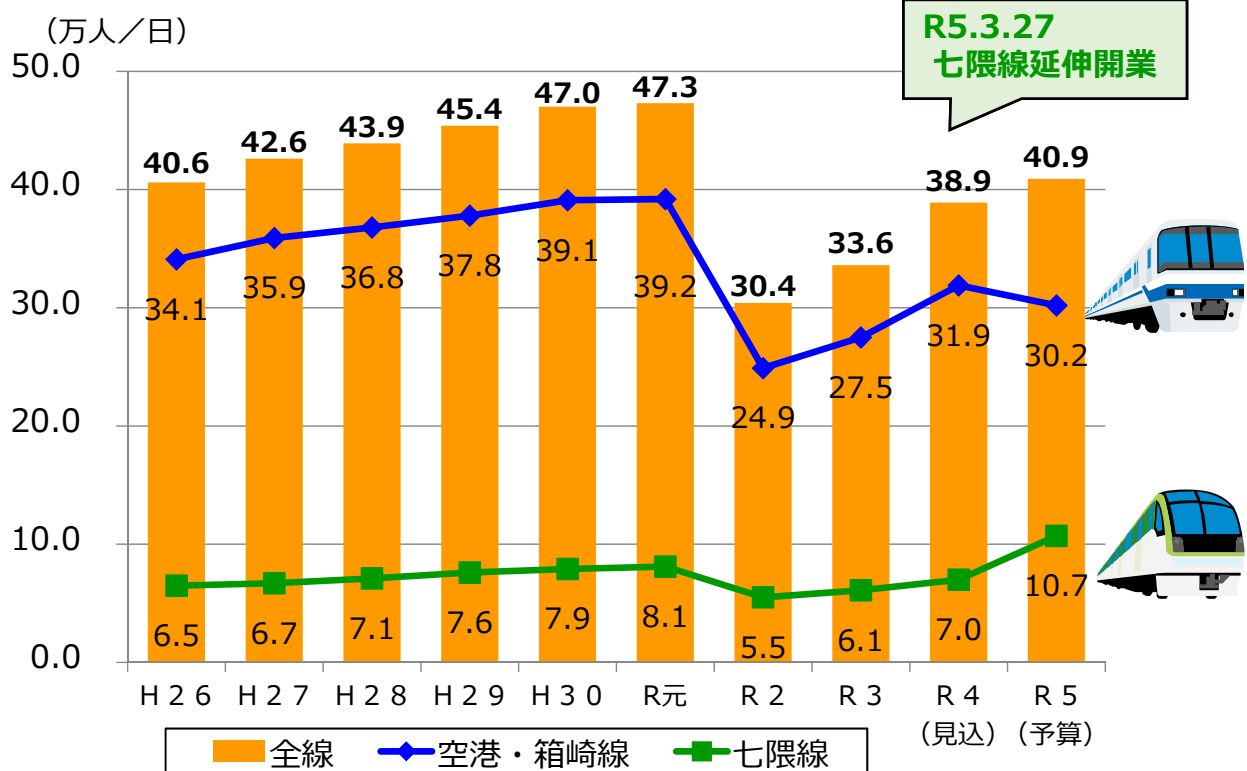
区分	R5当初予算	R4当初予算	差引
一般会計	60億 891万円	92億3,178万円	△ 32億2,287万円
高速鉄道事業会計	595億1,153万円	654億9,592万円	△ 59億8,439万円

2. 主な計数の比較

区 分	R5当初予算	R4当初予算	差引
1日あたりの輸送人員	40万9,200人	35万4,000人	5万5,200人
乗車料収入	286億2,286万円	241億5,928万円	44億6,358万円
単年度損益	13億 83万円	△ 4億2,568万円	17億2,651万円
累積損益※	△ 1,090億3,200万円	△ 1,130億2,523万円	39億9,323万円
年度末企業債残高※	2,097億6,113万円	2,226億3,587万円	△ 128億7,474万円

※累積損益と年度末企業債残高のR5当初予算欄は、R4年度補正予定額を含む。

3. 1日あたりの輸送人員の推移（年度別）



※R4は見込数である。

II 主要事業

1. 安全・安心の確保

(1) 土木構造物の長期健全性の確保

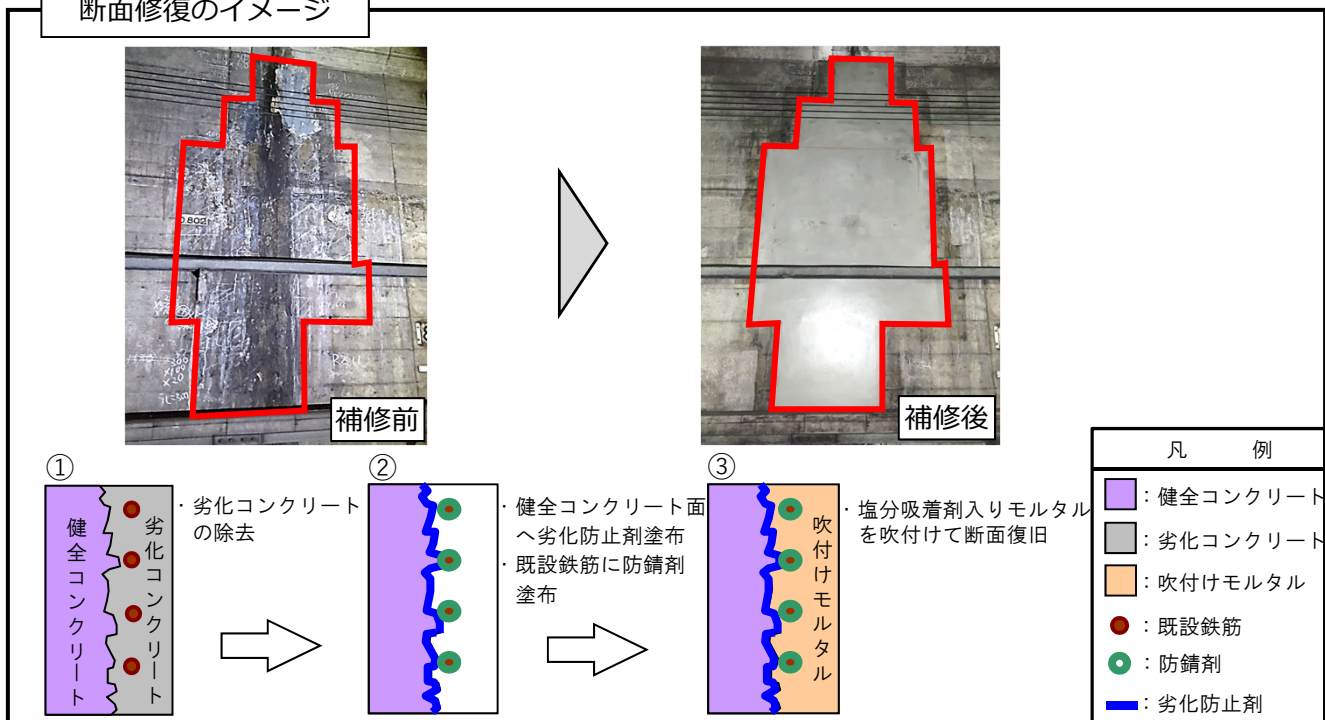
2億1,696万円



【概要】

トンネルなどの土木構造物については、日常点検や定期検査により構造物の健全度を把握するとともに、計画的な補修工事（断面修復等）を実施することにより、列車の安全運行を図っています。

断面修復のイメージ



(2) 駅内外装大規模改修

2億3,456万円



【概要】

空港・箱崎線については、開業から約40年が経過し、天井、壁、誘導ブロックなどの全体的な経年劣化が進んでいるため、お客様が安全に駅施設をご利用いただけるよう、駅内外装大規模改修を計画的に実施しています。

令和5年度は博多駅・中洲川端駅の改修工事、大濠公園駅の実施設計を行います。

壁面改修のイメージ



(3) 2000系車両大規模改修

2億5,395万円

【概要】

空港・箱崎線で使用している2000系車両については、運用開始から約30年が経過し、車体や主要な機器が経年劣化していることから、全6編成の大規模改修を順次実施しています。

改修にあたっては、さらなるユニバーサルデザインの導入やお客様サービスの向上を図っています。

令和4年度までに、5編成の改修車両が運行を開始しています。

令和5年度には、最後の1編成の改修車両が運行を開始します。



主な改修内容

安全・安心対応

主要機器を最新のものに更新し、信頼性を向上させます。また、吊り手の増設など、車内の安全利用のための施設の充実を図ります。

多言語対応

車内案内表示器を液晶型（LCD）に更新し、日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語表示を実施します。

バリアフリー対応

優先スペースの更なる充実を図るとともに、目や耳が不自由なお客様のために、ドア開閉予告灯・チャイムを新設します。

省エネ対応

省エネ機器への更新、照明のLED化により、省エネ化を実施します。

(4) 1000N系車両更新事業

282万円

【概要】

空港・箱崎線で使用している1000N系車両については、運用開始から約40年が経過し、車体や主要な機器が経年劣化していることから、全18編成を対象に新造車両へ更新します。

更新にあたっては、安全性、ユニバーサルデザイン、利便性、経済性などを向上させ、お客様により快適にご利用いただける車両を導入していきます。

第1編成目の車両の運行開始は令和6年度を予定しています。その後、順次車両の運行を開始し、令和9年度の完了を予定しています。



現行の1000N系車両

（5）新型コロナウイルス感染症対策

3,720万円



【概要】

新型コロナウイルス感染症対策として、駅や車両などにおける消毒の実施、地下鉄利用状況などの情報発信を行います。

【取組内容】

○駅、施設、車両における感染症対策の徹底

- ・ 駅務員等のマスク着用
- ・ お客様用消毒液の設置
- ・ 各施設や車両の消毒

○駅等における情報発信

- ・ ホームページや駅構内での混雑状況の掲示



お客様用消毒液（全駅設置）



混雑状況（全駅掲示）

（6）浸水対策事業

2,052万円

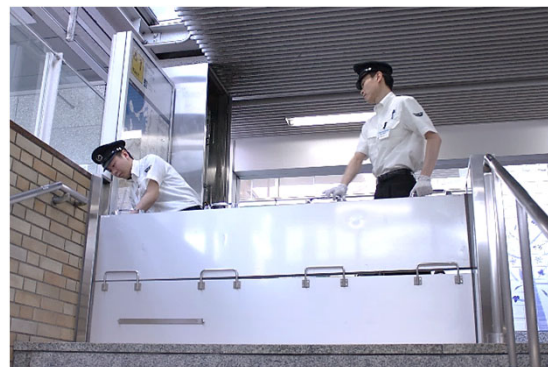


【概要】

局地的な集中豪雨などによる浸水に備え、駅施設の浸水対策を強化します。令和5年度は、経年劣化した止水板の改良及び収納箱の設置工事を行います。

【具体例】

- ・ 経年劣化した止水板の改良
- ・ 止水板の収納箱設置



止水板取付イメージ

2. 快適で質の高いサービスの提供

(1) 乗車マナーの向上

655万円



【概要】

お客様に、安心・快適に地下鉄をご利用いただくため、乗車マナーについては、これまで駅構内・車内放送や、ポスター・ステッカーの掲示、整列乗車ラインの設置・リニューアルおよびエスカレーターの安全利用を呼びかける自動音声案内装置の設置など行ってきたほか、乗車マナー向上キャンペーンにより、お客様のご理解とご協力をお願いしてきました。

令和5年度も引き続き、粘り強くマナーの呼びかけを行うなど、お客さまの乗車マナー向上に努めます。

エスカレーター安全利用啓発キャンペーン



プラカードを利用した啓発



2列利用促進床ステッカー



東福岡高校の生徒がデザインしたPOP広告



各種マナーポスター



整列乗車ライン

(2) 防犯対策の強化

5,134万円

【概要】

地下鉄の防犯対策については、「見せる警備」の一環として、車内防犯カメラの計画的な設置などの取組みを推進しています。新たに七隈線に導入した3000A系車両については、すでに4編成全てに車内防犯カメラを設置しています。

令和5年度から、空港・箱崎線で使用している2000N系車両及び七隈線で開業以来使用している3000系車両に車内防犯カメラの計画的な設置を進め、令和7年度に完了する予定です。

また、天神駅及び博多駅に防犯カメラを増設するなど、より効果的な防犯対策に取り組めます。

車内防犯カメラの設置例



設置済みの3000A系車両

車内防犯カメラ（例）



(3) 駅空調の改善

2,846万円

【概要】

近年の外気温上昇などによる駅構内の温度上昇を抑え、より快適にご利用いただけるよう、七隈線における駅構内の空調設備を改善します。

【令和5年度の主な事業内容】

- ・七隈線における空調設備の改善
(駅構内の排熱機能の向上)



七隈線ホームのスポット空調

3. まちづくりへの貢献

(1) 博多駅筑紫口リニューアル事業

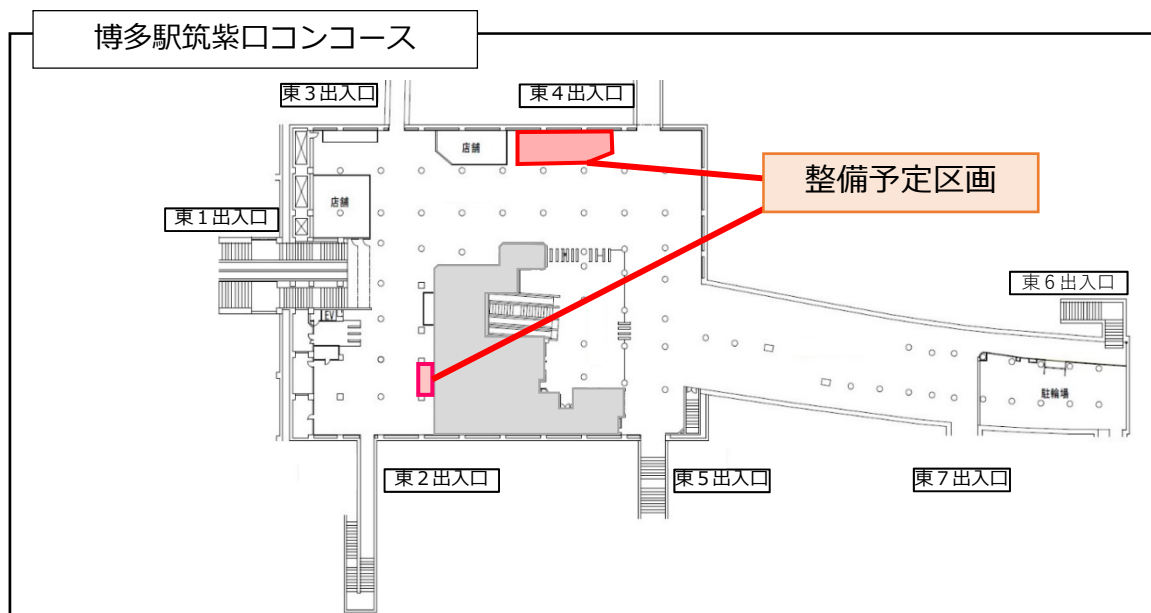
2,359万円



【概要】

博多駅筑紫口において、お客様にとってより使いやすく、より快適な駅となるよう駅リニューアルを進めています。

令和5年度は、筑紫口コンコースの利便性向上、賑わい創出のため、店舗区画を新たに2箇所整備します。



(2) 世界水泳選手権大会との連携

487万円

【概要】

「世界水泳選手権福岡大会・世界マスターズ水泳選手権九州大会」の気運醸成と地下鉄利用の促進を図るため、車内での案内放送や駅の装飾等を実施します。



(3) 再生可能エネルギー由来電力の導入

483万円

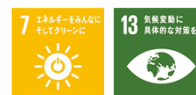
新規

【概要】

脱炭素化を推進するため、再生可能エネルギー由来電力を計画的に導入します。

【環境への効果】

再生可能エネルギー由来電力を導入することにより、令和5年度は地下鉄の年間CO₂排出量を約1,700トン削減できます。



(4) 環境負荷の低減（駅照明等のLED化） 1億1,347万円

【概要】

環境対策の取り組みとして、令和5年度はトンネル内照明や駅構内の電照広告等のLED化に取り組みます。

【令和5年度の主な整備対象】

トンネル内照明 : 中洲川端駅～貝塚駅間（令和5年度で空港・箱崎線完了）

駅構内の電照広告 : 姪浜駅、室見駅、博多駅、天神駅

【省エネ効果】

現在の照明器具と比べ1台あたり消費電力が50%以上削減



令和5年度の再生可能エネルギー由来電力の導入やLED化により削減される年間CO₂排出量は
約1,750トン！



地下鉄環境キャラクター
メコロ

4. 経営基盤の強化

(1) マーケティングに基づく営業戦略

2,358万円

【概要】

七隈線が延伸開業したことにより、利便性が向上する七隈線延伸区間を利用する通勤・通学のお客様に対し、延伸による時短効果、地下鉄の速達性・定時性をPRし、新たな通勤・通学による地下鉄利用者の増加を図ります。

また、観光客などのコロナ禍で減少したお客様に対して、地下鉄利用による周遊やお出かけを促進するために、地下鉄周遊コースの開発や、地下鉄周遊イベントなどを実施するなど、データ分析等も踏まえながら、ポストコロナに向け地下鉄利用の新たな魅力づくりを行います。



地下鉄周遊イベントチラシイメージ

(2) 新技術の積極的な活用

242万円

拡充

【概要】

福岡市実証実験フルサポート事業を活用した「クレジットカードのタッチ決済機能を活用した鉄道改札機通過に関する実証プロジェクト」により、お客様の利便性・快適性などに資する新たな技術の活用に取り組みます。

【取組内容】

タッチ決済機能付きクレジットカード等（※）を専用の読み取り部にかざすことで、地下鉄の乗り降りを可能とするもの。

（※デビット、プリペイド、スマートフォン、ウェアラブル端末含む）



実証期間	令和4年5月31日～ 令和5年3月26日	令和5年3月27日～ 令和6年3月31日（予定）
対象駅	天神、中洲川端、祇園、博多、 東比恵、福岡空港、呉服町 計7駅	空港線、箱崎線、七隈線の全3路線 全36駅 ※ 櫛田神社前駅含む
決済ブランド	VISA	Visa、JCB、American Express、 Diners Club、DISCOVER、銀聯